「人権の歴史」

このプリントでは、公民の教科書 P36～37 の内容を予習します。
ですが、このページの内容のほとんどが、歴史の授業ですでに学習しています。
今回は歴史の学習内容の復習もかねてのプリントです。
次の資料の文書名を答えましょう。

①[]

いかなる自由民も、正当な裁判または国の法律によらなければ、逮捕または監禁をされたり、土地をうばわれたり、法による保護をうばわれたり、国外に追放されたり、またはその他の方法によって侵害されることはない。

②[]

- ①国王は議会の承認なしに法律を停止することはできない。
- ④議会の承認なしに、国王は金銭を徴収することはできない。
- ⑨議会における言論の自由は守られなければならない。
- ⑬議会はしばしば開かれなければならない。

③[]

われわれは、ごく当然の真理としてすべての人間は平等につくられ、一定の譲ることのできない権利をあたえられており…これらの権利を確保するために人々の間に政府がつくられる。その正当な権力は人民の合意によるものである。そして、いかなる政府であっても、この目的をこわすものになったときには、人民は政府を変更もしくは廃止して、…新しい政府をつくる権利を持っている。 (要約)

④[]

- 第 1 条 人は、生まれながらにして、自由かつ平等な権利を持っている。
- 第 3 条 あらゆる主権の原理は、本来、国民のうちにある。
- 第 17 条 財産の所有権は、神聖で不可侵の権利である。

⑤[]

- 1. 国家権力は人民から発する。
- 22. 国会議員は男女の普通平等選挙で選ばれる。
- 151. 経済生活は、人が人として生存することを保障する原則に沿っていなければならない。